

# 文化・芸術の功績者を表彰

## 平成16年度鳥取市文化賞

11月3日、市の文化・芸術の振興に功績のあった人を讃える「鳥取市文化賞」の贈呈式が仁風閣で行われました。

今年度は、美術の上田敏和さん、同じく美術のフナイタケヒコさん、文芸の竹内道夫さん、そして、文化活動の鹿野町民音楽祭実行委員会のみなさんが受賞されました。



### 受賞者紹介



うえだとしかず  
上田敏和さん [美術]

鳥取市高住（63歳）

30代にして、独立展で独立賞、林賞などを受賞、44歳で独立美術協会会員となった。その後も、独創性かつ緊張感のある絵画世界を作品化し、個展、会展に出品している。昭和63年、鳥取大学教官として赴任以降も製作のかたわら、地域の各種美術展や企画に参加、また、韓国との美術交流にも寄与した。現在、鳥取県美術家協会会長、県展運営委員、市展実行委員・審査員として、地元美術の発展と後進の指導にも尽力している。



フナイタケヒコさん [美術]

(本名：船井武彦さん)  
鳥取市東今在家（62歳）

20歳代で自由美術協会展に連続入選し、昭和44年には仲間とグループ「スペース・プラン」を結成、鳥取砂丘での野外展示など、野外・室内での立体・平面・映像などの企画展を開催し、鳥取にこれまでなかった前衛的な表現世界を開拓した。一方、県展、市展にも立体作品を出品している。近年は平面作品の可能性を探り、色・空間・光をテーマにした抽象絵画を制作し、保守的になり勝ちな地方美術に刺激を与えている。



たけうちみちお  
竹内道夫さん [文芸]

鳥取市南栄町（52歳）

若い頃より鳥取県の近代文学史の研究を始め、23歳のときに「鳥取県文芸史」を刊行。資料を重視し、著名な文学者はもとより、あまり知られていない地味な文学者まで発掘、ふるさとの先人達の業績を明らかにした。鳥取における郷土文学史研究と再評価の気運をつくった一人といえる。並行して、県女性史研究も行なっている。新聞などに発表している、「鳥取文壇百年」「鳥取文壇意外史」などの成果もある。



鹿野町民音楽祭  
実行委員会 [文化活動]

(実行委員長 岡田浩四郎さん)  
鳥取市鹿野町鹿野

昭和56年、第1回町民音楽祭開催のため、同実行委員会を組織、町民みずからの手による新しい文化の創造をめざしている。「さくら姫物語」など、町内に伝わる伝説をもとにしたミュージカルへ挑戦し、キャスト、スタッフはすべて公募、以来毎年上演している。県民文化会館、倉吉未来中心での公演も成功した。また、子どもから大人まで、世代、地域をこえて参加する「ふるさとミュージカル」を通して、郷土を見直し、活性化させる試みは貴重な存在である。

今後、市報の毎月1日号に、施設建設の進捗状況や、予想される料金の改訂などについてのお知らせを掲載していく予定です。

10月28日に国の認可が得られ、浄水施設建設を再開することにになりました。

## 水道通信

鳥取市水道局  
☎(0857)53-7811

No.1